

川田功 （いづみ） 小説家、俳人。明治十五年一月四日高知縣土佐郡小高坂村生れ、昭和六年五月二十八日歿（二八二―一九三二）。號叱風。海軍少佐。豫津浦役編入後博文館に入り、雑誌『少女世界』の編輯主任を務めた他、
 『新青年』の探偵小説などを發表。

著書 『軍 （イタリ） する身』（大正六年八月）『二十日止善堂書店』、『砲彈を潜りて』（再版・大正十四年九月十五日博文館）、『斜陽と鐵血・軍服の聖者』（津野田良重合著、昭和四年七月十日戰記名著刊行會「戰記名著集」）等。

